

# 田尻だより

平成 17 年

4 月 号

Vol. 25

次回の田尻便りは  
5 月発行予定!

春本番、農作業もい

よいよ本格的に始まり

ました。今年の種まき

は 4 月の 7 日 8 日ごろ。

ちようど田尻町の加護

坊山でさくらまつりが

始まる頃です。下旬に

なると、山では一千本

以上の桜が咲き、パー

クゴルフの全国大会

も開催され、たくさん

の人たちで賑わいます。

マ×柴のライスは、柴犬の  
小型犬なので、小さいけれど  
これ以上は大きくないません。



実家で柴犬を飼っていた

〔種まきまでの作業〕

稲作は、種まきから

始まる訳ではありません

ん。秋、最も良い時期

に稲刈りができるよう

種をまく前にスタート

ラインを整えてやらな

ければなりません。

まず、種もみを卵が

浮かぶくらい塩水に

浸けます。中身のよく

詰まった種もみだけが

沈むので、この種もみ

のみを取り出します（

塩水選）。次に、60℃

の温湯に 10 分ほど浸し、

農薬を使わずに種もみ

の表面についた病原菌

などを取り除きます（

温湯消毒）。それから

冷水に一ヶ月ほど浸け

て（浸水）種の中の発

芽抑制物質をゆつくり

と溶かし出すことで、

種もみは徐々に眠りか

ら覚め始めます。

種まきを迎える頃、

種もみは水をたっぷり

吸収して半透明になり、

ぷつくりと膨れていま

す。あとは目覚めて芽

を出すばかりです。

そんなライスがある日突然

小犬を生まました。それと

みんなビックリ!!



オスが一匹、メスが二匹  
生まれたので、それぞれ  
「玄」と「白」と名付けました。

## 米 曆 ~こめごよみ~

- 3 月 11 日 種もみの塩水選・温湯消毒をしました。
- 3 月 22 日 育苗用の山土運びました。
- 3 月 22 日 土合わせをしました。  
(土に有機肥料や活性炭を入れてよく混ぜ合わせます)

現在、種もみは浸水中です。

## 嫁日記

小野寺家にお嫁に来て、早 3 年が経ちました。今でもよく、「こっちの言葉には慣れた?」と聞かれます。

\*\*\*

基本的な語尾の変化や発音の違い、イントネーションなどは随分慣れたつもりですが、例えばカエルの事をピッキ、ふきのとうをバツ

ケ、でたらめな事をアペトペなど、もはや原形をとどめない単語も多く、幼児語(おすわりをジャンコ、など)に至ってはもう何が何だか

\*\*\*

けれども、本当に分からないのは、おじいさんおばあさんの言葉。一緒に暮らしてきた皇貴さんですら分からないのだから、私に分かるはずもないのですが...